

「ぴったり」の多要素認証が見つかる

多要素認証ソリューション

PassLogic



アップデート概要

エンタープライズ版 Ver.6.2

2026/02/04

新機能

Microsoft Entra ID同期

PassLogic と Microsoft Entra ID(旧称 Azure Active Directory)のユーザーデータの同期機能が新規追加されました。利用環境に応じて、いずれの方向からでも同期が可能です。さらに、Entra ID、AD、PassLogicのいずれかにユーザー管理を一元化することで、正確かつ手間のかからないID管理を実現できます。

機能の拡張・改善

クライアント証明書提出機能(PKI認証機能)

クライアント証明書提出機能(PKI認証機能)の仕組みを改善し、証明書発行画面をアプリ内蔵ブラウザ(WebView)で表示できるようにしました。これにより、Officeアプリ経由によるMicrosoft 365のログインでもクライアント証明書認証に対応します。

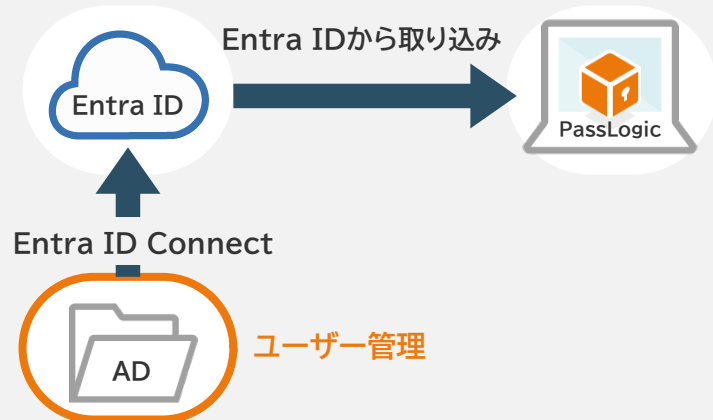
ユーザー管理を一元化し、正確で手間の少ないID管理を実現します

利用環境に応じて、いずれの方向からでも同期が可能です。

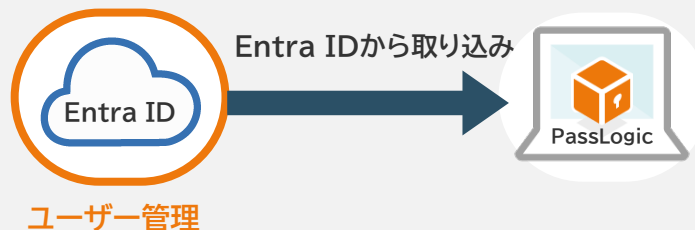
さらに、Entra ID、AD、PassLogicのいずれかにユーザー管理を一元化することで、正確かつ手間のかからないID管理を実現できます。

同期方向①：【Entra ID → PassLogic】

1 ADでユーザー管理を行う導入方法

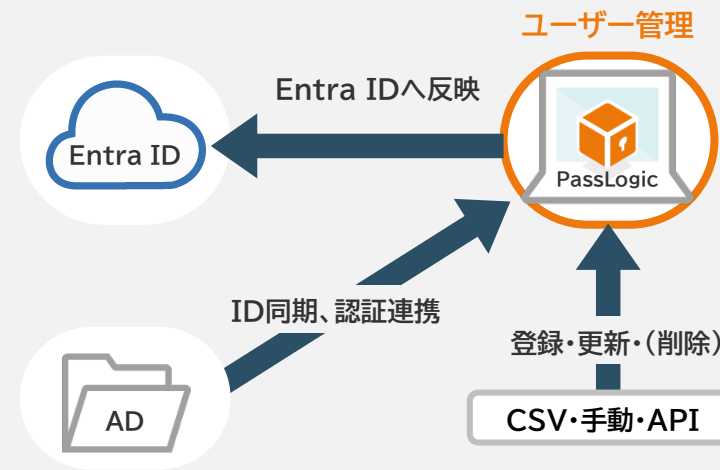


2 Entra IDでユーザー管理を行う導入方法



同期方向②：【PassLogic → Entra ID】

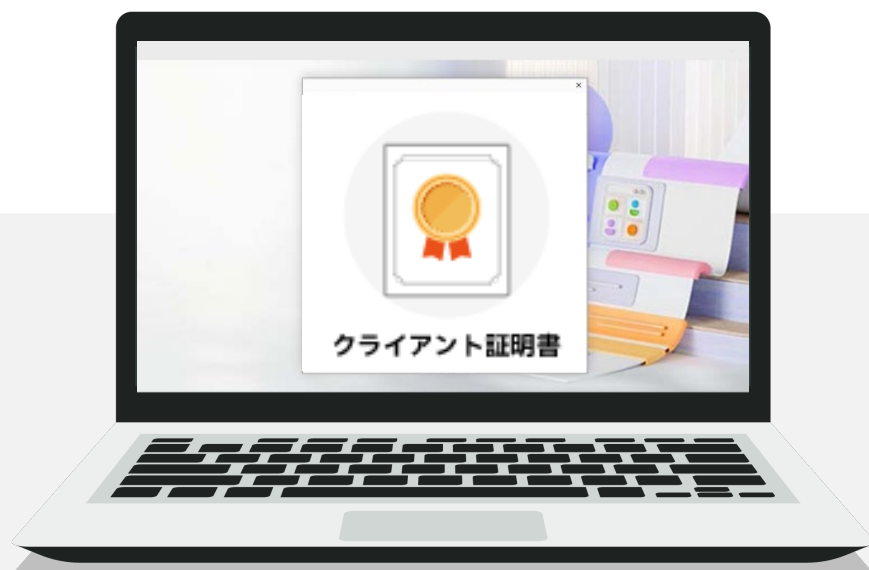
3 PassLogicでユーザー管理を行う導入方法



Officeアプリで「デバイスレス多要素認証」が可能になりました。

クライアント証明書提出機能(PKI認証機能)の仕組みを改善し、OfficeアプリでSAML認証を行う際の内蔵ブラウザにおいても、クライアント証明書を用いた認証が可能となりました。

これにより、従来は対応していなかったOfficeアプリからのアクセスにおいても、PassLogic認証とクライアント証明書認証を組み合わせた外部機器不要の「デバイスレス多要素認証」が利用できるようになりました。



手ぶらでログイン！
ブラウザだけで使いやすい



利用者

ブラウザで完結するワンタイムパスワードのPassLogic認証(マトリックス方式)とクライアント証明書を利用して、デバイスが不要な多要素認証が可能です。脆弱なパスワードを排除し、追加の機器の導入や管理が不要になるため、安全で低コストな認証を実現します。